

7月26日(金)

A会場 [ 飛翔の間 I・II ]

学会長挨拶

8:55~9:00

特別講演 SL1

9:00~9:30

『本学会の足跡 1:日本意識障害学会の生い立ち』

座長:鈴木 明文 秋田県立脳血管研究センター

「日本意識障害学会の生い立ち」

神野 哲夫

藤田保健衛生大学 名誉教授

医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック 名誉院長

一般演題 A1 『脳内クロストーク』

9:30~10:30

座長:上田 孝 医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科

A1-1 三次元脳血流統計解析法を用いた脳内クロストーク現象の検索

矢野 英一<sup>1</sup>、黒木 詠治<sup>1</sup>、黒木 修平<sup>1</sup>、小田 憲紀<sup>1</sup>、小城 亜樹<sup>1</sup>、近藤 隆司<sup>1</sup>、上田 孝<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 放射線部、

<sup>2</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科

A1-2 意識障害と脳内クロストーク現象

上田 孝<sup>1</sup>、黒木 詠治<sup>2</sup>、黒木 修平<sup>2</sup>、小田 憲紀<sup>2</sup>、小城 亜樹<sup>2</sup>、矢野 英一<sup>2</sup>、近藤 隆司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科、

<sup>2</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 放射線部

A1-3 異種感覚刺激による脳内クロストーク現象を応用した歩行リハビリテーション

古澤 光<sup>1</sup>、上田 正之<sup>1</sup>、諸井 孝光<sup>1</sup>、河野 美香<sup>1</sup>、蓑田 亜希子<sup>1</sup>、渡邊 智恵<sup>1</sup>、  
野津手 恵子<sup>1</sup>、内田 里香<sup>1</sup>、宮崎 紀彰<sup>2</sup>、上田 孝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部、

<sup>2</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 麻酔蘇生科、

<sup>3</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科

A1-4 異常感覚によりADLに支障をきたし、異種感覚脳内クロストーク課題を用いた症例

諸井 孝光<sup>1</sup>、上田 正之<sup>1</sup>、古澤 光<sup>1</sup>、河野 美香<sup>1</sup>、蓑田 亜希子<sup>1</sup>、渡邊 智恵<sup>1</sup>、  
野津手 恵子<sup>1</sup>、内田 里香<sup>1</sup>、宮崎 紀彰<sup>2</sup>、上田 孝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部、

<sup>2</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 麻酔蘇生科、

<sup>3</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科

A1-5 異種感覚脳内クロストーク現象を用いたリハビリテーションが効果を上げた2症例の報告

上田 正之<sup>1</sup>、古澤 光<sup>1</sup>、諸井 孝光<sup>1</sup>、河野 美香<sup>1</sup>、蓑田 亜希子<sup>1</sup>、渡邊 智恵<sup>1</sup>、野津手 恵子<sup>1</sup>、内田 里香<sup>1</sup>、宮崎 紀彰<sup>2</sup>、上田 孝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部、

<sup>2</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 麻酔蘇生科、

<sup>3</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科

A1-6 院内異分野クロストーク ～毎日のウォーキングカンファレンス～

日高 由芳<sup>1</sup>、大塚 清美<sup>1</sup>、和泉 美千代<sup>1</sup>、下川 洋二<sup>1</sup>、山之内 香<sup>1</sup>、大谷 智絵美<sup>1</sup>、上田 孝<sup>2</sup>、宮崎 紀彰<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 看護部、

<sup>2</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科、

<sup>3</sup>医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 麻酔蘇生科

一般演題 A2 『病態とイメージング』

10:30～11:40

座長：田宮 隆 香川大学医学部 脳神経外科

A2-1 意識障害改善の指標としてのFDG-PET動的解析の有用性

河井 信行<sup>1</sup>、畠山 哲宗<sup>1</sup>、河北 賢哉<sup>2</sup>、黒田 泰弘<sup>2</sup>、田宮 隆<sup>1</sup>

<sup>1</sup>香川大学医学部 脳神経外科、<sup>2</sup>香川大学医学部附属病院 救命救急センター

A2-2 重症頭部外傷慢性期患者における抗てんかん薬中止と脳FDG集積・症状改善との関連

内野 福生、小瀧 勝、岡井 匡彦、岡 信男

自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科・PET診療部

A2-3 フルマゼニルPETを用いた脳外傷後高次脳機能障害患者の大脳皮質神経障害部位の検出

畠山 哲宗、河井 信行、宍戸 肇、田宮 隆

香川大学医学部 脳神経外科

A2-4 遷延性意識障害患者への鍼治療と<sup>99m</sup>Tc-ECD脳血流SPECTの定量値との関係

山田 裕一<sup>1,2</sup>、奥村 竜児<sup>1,2</sup>、福山 誠介<sup>1,2</sup>、松本 淳<sup>3</sup>、浅野 好孝<sup>2,4</sup>、篠田 淳<sup>2,4</sup>

<sup>1</sup>中部療護センター 放射線技術部、<sup>2</sup>社会医療法人厚生会 木沢記念病院、<sup>3</sup>中部療護センター、

<sup>4</sup>中部療護センター 脳神経外科

A2-5 視床核と意識障害について (tractographyを用いた検討)

小山 香名江

弘前大学医学部大学院医学研究科 脳神経外科学講座

A2-6 交通事故による慢性期軽度外傷性脳損傷患者の脳損傷部位と高次脳機能障害

伊東 慶一<sup>1,2</sup>、野村 悠一<sup>3</sup>、米澤 慎悟<sup>2,3</sup>、浅野 好孝<sup>2,3</sup>、篠田 淳<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>上飯田リハビリテーション病院、<sup>2</sup>岐阜大学連携大学院 脳病態解析学、

<sup>3</sup>木沢記念病院・中部療護センター 脳神経外科

A2-7 遷延性意識障害患者における酸化ストレス係数の比較検討

垣内 孝史<sup>1</sup>、森田 功<sup>1</sup>、秋山 泰一<sup>2</sup>、廣瀬 雄一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>藤田保健衛生大学医学部 脳神経外科、<sup>2</sup>藤田保健衛生大学病院 臨床検査部

ランチオンセミナー LS1

12:00~13:00

座長：藤原 悟 一般財団法人広南会 広南病院

共催：田辺三菱製薬株式会社

「ラジカットは急性期血行再建におけるベストパートナーとなりうるか」

鈴木 倫保

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科

一般演題 A3 『救急医療・災害医療』

13:00~14:00

座長：藤木 稔 大分大学医学部 脳神経外科

A3-1 病院前救護と初期診療に共通のフレームを持つ意識障害評価プロトコルの作成

谷崎 義生<sup>1</sup>、中村 光伸<sup>2</sup>、中島 重良<sup>3</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 救急部・脳神経外科、

<sup>2</sup>前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科、<sup>3</sup>伊勢崎市民病院 脳神経外科

A3-2 痙攣重責発作に対してレベチラセタム高用量投与で鎮静化した2例

飯塚 宏<sup>1</sup>、山本 高士<sup>2</sup>、太田 慎次<sup>1</sup>、加藤 丈典<sup>1</sup>、新帯 一憲<sup>1</sup>、安藤 遼<sup>1</sup>、大島 良介<sup>1</sup>、  
長谷川 俊典<sup>1</sup>

<sup>1</sup>小牧市民病院 脳神経外科、<sup>2</sup>名古屋大学医学部 脳神経外科

A3-3 外来診察中に意識障害をきたした椎骨動脈解離性動脈瘤の一例

近藤 康介、福島 大輔、上田 啓太、長尾 考晃、原田 雅史、榊田 博之、野本 淳、  
原田 直幸、根本 匡章、周郷 延雄

東邦大学医学部医学科 脳神経外科学講座(大森)

A3-4 肥大型心筋症と透析困難から意識障害を呈したミトコンドリア異常症の一例

前田 裕仁、中谷 壽男、鍛方 安行

関西医科大学医学部 救急医学科

A3-5 津波肺炎に合併した細菌性動脈瘤破裂によるくも膜下出血の1例

山崎 文子、波出石 弘、田中 美千裕

亀田総合病院 脳神経外科

A3-6 急激な意識障害をきたし治療に難渋した特発性脳脊髄液減少症の一例

原田 雅史<sup>1</sup>、福島 大輔<sup>1</sup>、梶田 博之<sup>1</sup>、野本 淳<sup>1</sup>、近藤 康介<sup>1</sup>、原田 直幸<sup>1</sup>、宮崎 親男<sup>2</sup>、  
根本 匡章<sup>1</sup>、周郷 延雄<sup>1</sup>、黒木 貴夫<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医学部医学科 脳神経外科学講座 (大森)、<sup>2</sup>三郷中央総合病院 脳神経外科、

<sup>3</sup>東邦大学医学部医学科 脳神経外科学講座 (佐倉)

シンポジウム SY2

14:00~15:00

『意識障害患者への災害時の対応－解決した課題』

座長：大熊 洋揮 弘前大学医学部 脳神経外科

鈴木 明文 秋田県立脳血管研究センター

SY2-1 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う入院患者医療搬送

近藤 久禎<sup>1</sup>、小早川 義貴<sup>1</sup>、鶴和 美穂<sup>1</sup>、市原 正行<sup>1</sup>、大野 竜男<sup>1</sup>、森野 一真<sup>2</sup>、  
阿南 英明<sup>3</sup>、本間 正人<sup>4</sup>、大友 康裕<sup>5</sup>、小井土 雄一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構災害医療センター、<sup>2</sup>山形県立救命救急センター、<sup>3</sup>藤沢市民病院、

<sup>4</sup>鳥取大学 医学部、<sup>5</sup>東京医科歯科大学 医学部

SY2-1 大規模停電がもたらした在宅患者の危機と消防としての対応

清野 洋一

秋田市消防本部 救急課

シンポジウム SY3

15:00~16:30

『医療・介護ロボットの進歩』

座長：近藤 和泉 国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

SY3-1 バランストレーニングロボットとその将来への展開

近藤 和泉

独立行政法人国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

SY3-2 歩行支援ロボットによる脳卒中片麻痺者の歩行訓練

和田 太

産業医科大学 リハビリテーション医学講座

SY3-3 医療・介護ロボットとその将来への展開

才藤 栄一

藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学I講座

## 教育講演 TL1

16:30~17:00

座長：重森 稔 柳川リハビリテーション病院

### 「意識障害の評価スケールー主として急性期スケール開発過程とその現状ー」

太田 富雄

大阪医科大学 名誉教授

大阪脳神経外科病院 名誉院長

## 特別シンポジウム SS1

17:00~18:45

### 『慢性期軽度意識障害の評価スケール』

座長：松居 徹 埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

高橋 弘 医療法人景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

#### SS1-1 慢性期軽度意識障害の評価法への提言と必要性

松居 徹

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

#### SS1-2 認知症評価スケールにおける意識障害の扱い：認知症と意識障害の接点は？

東海林 幹夫

弘前大学医学部 神経内科

#### SS1-3 慢性期軽度意識障害と認知不全症の関係について

太田 富雄

大阪医科大学 名誉教授

大阪脳神経外科病院 名誉院長

#### SS1-4 慢性期軽度意識障害評価スケール開発へのアプローチ

ー病態生理学からのアプローチー

篠田 淳

木沢記念病院・中部療護センター

岐阜大学連携大学院医学系研究科 脳病態解析学分野

#### SS1-5 看護および介護支援的な要素の整理

日高 紀久江

筑波大学 医学医療系

#### SS1-6 慢性期軽度意識障害の評価スケール開発へのアプローチ

ー新たな評価スケールへの展開ー

大沢 愛子、近藤 和泉

国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

7月26日(金)

B会場 [ 飛翔の間 V・VI ]

一般演題 B1 『社会からの支援』

9:05~9:40

座長：松井 英俊 広島文化学園大学 看護学部

B1-1 遷延性意識障害になった患者家族の介護事情についての研究

松井 英俊、石川 孝則

広島文化学園大学看護学部 看護学科

B1-2 在宅高次脳機能障害者の社会的行動障害と日常生活活動の状況と家族の介護負担

大西 久男<sup>1</sup>、高畑 進一<sup>1</sup>、緒方 志帆<sup>2</sup>、内藤 泰男<sup>1</sup>、田中 宏明<sup>1</sup>、村川 雄一朗<sup>3</sup>、  
堀田 晴子<sup>4</sup>

<sup>1</sup>大阪府立大学地域保健学域 総合リハビリテーション学類、<sup>2</sup>宝塚リハビリテーション病院、

<sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター、<sup>4</sup>帝塚山リハビリテーション病院

B1-3 在宅遷延性意識障害者の介護保障の変遷によるQOLの検討

松田 陽子<sup>1</sup>、日高 紀久江<sup>2</sup>

<sup>1</sup>元 筑波大学大学院 人間総合科学研究科、<sup>2</sup>筑波大学 医学医療系

B1-4 失語症患者との関わりを通じて学んだこと

—コミュニケーションに視点をあてて—

佐々木 渚

東北薬科大学病院 看護局 回復期リハビリテーション科

一般演題 B2 『チーム医療・多職種連携』

9:40~10:15

座長：岩瀬 正顕 関西医科大学附属滝井病院 脳神経外科

B2-1 脳血管攣縮期の水分摂取指導 —パンフレットを活用して—

菊田 友季、沼辺 愛、田澤 文恵、佐藤 ひとみ、鎌田 利明、小倉 寿子、石垣 富美代  
仙台東脳神経外科病院

B2-2 救急病棟における多職種で取り組む退院支援の現状

関川 志保<sup>1</sup>、児玉 照光<sup>2</sup>

<sup>1</sup>亀田総合病院 救急病棟、<sup>2</sup>亀田総合病院 総合相談室

B2-3 抗腫瘍薬維持療法を行う患者・家族への退院支援

—認知・言語障害をもつ患者の事例—

川西 文<sup>1</sup>、渡邊 順子<sup>1</sup>、橋田 由吏<sup>1</sup>、高澤 千鶴<sup>1</sup>、河井 信行<sup>2</sup>、田宮 隆<sup>2</sup>

<sup>1</sup>香川大学医学部附属病院 看護部、<sup>2</sup>香川大学医学部 脳神経外科

## B2-4 意識障害の救急患者における院内多職種連携の重要性

岩瀬 正顕<sup>1</sup>、須山 武裕<sup>1</sup>、山原 崇弘<sup>1</sup>、武田 純一<sup>1</sup>、浅井 昭雄<sup>2</sup>、前田 裕仁<sup>3</sup>、  
中谷 壽男<sup>3</sup>、鍛方 安行<sup>4</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学附属滝井病院 脳神経外科、<sup>2</sup>関西医科大学 脳神経外科、

<sup>3</sup>関西医科大学附属滝井病院 救命救急センター、<sup>4</sup>関西医科大学 救急医学

### シンポジウム SY1

10:15~11:50

#### 『多職種連携－在宅医療に向けて』

座長：中村 博彦 社会医療法人医仁会 中村記念病院

石山 光枝 木沢記念病院

桜田 則子 秋田県立脳血管研究センター

#### SY1-1 多職種連携－在宅医療に向けて

－在宅生活のQOLを高める多職種連携と今後の課題－

紙屋 克子

筑波大学

公益財団法人国際医学教育財団

#### SY1-2 医療依存度の高い在宅療養児・者への支援

～医療的ケア日中一時支援事業とその後～

大石 明宣

医療法人信愛会

社会福祉法人明世会

#### SY1-3 在宅療養における脳血管疾患症例に関する検討

市原 利晃、佐藤 浩平、後藤 和也

秋田往診クリニック

#### SY1-4 当歯科医院の在宅医療の現状と多職種連携

千葉 利昭

医療法人千成会 旭北歯科医院

### ランチオンセミナー LS2

12:00~13:00

座長：波出石 弘 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 脳神経外科

共催：第一三共株式会社

#### 「見逃され易い軽度の意識障害とその対応」

長田 乾

秋田県立脳血管研究センター 神経内科研究部

## 一般演題 B3 『脳神経外科看護 1』

13:00~13:40

座長：長嶺 義秀 広南病院東北療護センター

- B3-1 脳神経外科病棟の休日業務の応援態勢の取り組み  
久留 清美、小川 尚子、菊池 久美子、小林 朝美  
小牧市民病院
- B3-2 脳卒中急性期病棟看護師の夜勤前後の休息と疲労に関する実態調査  
笹村 悠子、小野 維子、保坂 栄子、佐々木 美和子  
秋田県立脳血管研究センター
- B3-3 看護現場における腰痛実態調査  
皆方 伸、木元 裕介、澤村 幸恵、佐藤 雄一  
秋田県立脳血管研究センター 機能訓練部
- B3-4 外傷性意識障害患者に対する新看護プログラムの有効性  
西郷 典子<sup>1</sup>、大前 綾子<sup>1</sup>、松井 智枝<sup>1</sup>、金田 憲司<sup>1</sup>、水元 志奈子<sup>1</sup>、三崎 律子<sup>1</sup>、  
片岡 恵美子<sup>1</sup>、松村 望東美<sup>1</sup>、八木 良子<sup>1</sup>、萬代 眞哉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 看護部、  
<sup>2</sup>独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 診療部
- B3-5 新看護プログラムの浸透を目指した2年間の取り組みの報告  
秋広 由美子、竹本 修代、竹内 葉子、岸部 友美  
自動車事故対策機構 千葉療護センター 看護部

## 一般演題 B4 『脳神経外科看護 2』

13:40~14:20

座長：佐々木 耕子 秋田県立病院機構

- B4-1 亜急性期意識障害のある脳卒中患者の笑い療法における意識レベル評価の一考察  
菊池 香乃子、籠嶋 弘美、小川 美季、富坂 百合、長能 みゆき、岩淵 聡  
東邦大学医療センター 大橋病院
- B4-2 患者・看護師の負担軽減及びコスト削減への紙オムツ比較検討  
山岡 恒士、島田 優子、渡邊 可奈、佐藤 友美、山崎 さよ子、徳山 美奈子  
埼玉医科大学総合医療センター
- B4-3 遷延性意識障害者における睡眠状態の調査  
宮崎 裕子、西岡 靖純、木村 真由美、角丸 圭子  
中村記念病院 看護部
- B4-4 退院支援への取り組み  
高橋 千春、佐藤 聖子  
秋田組合総合病院

B4-5 中部療護センター退院後の患者家族への満足度調査  
～アンケート調査による分析～

田中 秀美、恵 有香、安江 留美子、田中 陽子、兼松 由香里、石山 光枝、篠田 淳  
木澤記念病院 中部療護センター 看護部

一般演題 B5 『脳神経外科看護 3』

14：20～15：10

座長：佐々木 美和子 秋田県立脳血管研究センター 看護部

B5-1 気管カニューレによる気管内肉芽のある遷延性意識障害患者へのポジショニングの検討

西脇 由佳<sup>1</sup>、日下部 裕子<sup>1</sup>、兼松 由香里<sup>1</sup>、石山 光枝<sup>1</sup>、野村 悠一<sup>2</sup>、米澤 慎悟<sup>2</sup>、  
浅野 好孝<sup>2</sup>、篠田 淳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター 看護部、<sup>2</sup>木沢記念病院 中部療護センター 脳神経外科

B5-2 高次脳機能障害患者の車椅子使用時の転倒予防  
ー視覚的表示を用いた学習法の有用性ー

皆吉 あづさ、小園 梨沙、西田 香織、龍 洋子、重森 稔  
柳川リハビリテーション病院 看護部

B5-3 意識障害患者の便秘に対するバランスボールの効果

佐藤 友紀、篠原 さゆり、中村 末子、武藤 ゆかり、橋本 美紀  
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 聖母3階病棟

B5-4 遷延性意識障害患者の排便コントロールに対してバランスボールを用いた看護介入  
大友 昭子<sup>1</sup>、栗村 由紀子<sup>1</sup>、川熊 のぶい<sup>1</sup>、長嶺 義秀<sup>2</sup>、藤原 悟<sup>3</sup>

<sup>1</sup>一般財団法人広南会 広南病院・東北療護センター 看護部、  
<sup>2</sup>広南病院 東北療護センター 診療部、<sup>3</sup>広南病院 脳神経外科

B5-5 頭部血管造影検査後の安静臥床に対するアロマオイルを用いたストレス軽減効果

柳谷 智美、大坂 里美、佐々木 涼子、小高 桃絵、小笠原 知美、渡辺 薫  
青森県立中央病院 脳神経センター

B5-6 脳血管撮影検査・治療時に患者が感じる苦痛の実態調査と看護介入

塚本 育子、川村 みどり  
地方独立行政法人秋田県立病院機構 秋田県立脳血管研究センター 看護部 手術室

一般演題 B6 『脳神経外科看護 4』

15：10～16：00

座長：中村 令子 東北福祉大学健康科学部 保健看護学科

B6-1 注意障害のある患者と問題解決に取り組んだ1事例

佐々木 貴子  
秋田県立脳血管研究センター 5階病棟

- B6-2 脳神経外科病棟でのグリーンケア 重症クモ膜下出血患者の一症例を振り返る  
三浦 久美子、土屋 和美、山崎 文子、波出石 弘  
亀田総合病院 看護部 脳神経外科病棟
- B6-3 遷延性意識障害で25年間経過した患者の看取りについての一考察  
竹内 葉子<sup>1</sup>、佐々木 潤子<sup>1</sup>、秋広 由美子<sup>1</sup>、岸部 友美<sup>1</sup>、小瀧 勝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自動車事故対策機構 千葉療護センター 看護部、  
<sup>2</sup>自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科
- B6-4 在宅から入院した患者の家族との関わりを振り返る  
～末期癌の妻の思いを受け止めて～  
秋岡 達郎、餅川 真由美、坂井 雅子、小寺 貞子、松本 由子  
倉敷リハビリテーション病院
- B6-5 温浴刺激等を含めた新たな看護によって症状が改善した遷延性意識障害患者の1例  
金田 憲司<sup>1</sup>、大前 綾子<sup>1</sup>、久内 文<sup>1</sup>、片岡 恵美子<sup>1</sup>、八木 良子<sup>1</sup>、梶谷 伸顕<sup>2</sup>、  
萬代 眞哉<sup>2</sup>、衣笠 和夜<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター、  
<sup>2</sup>独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 診療部
- B6-6 遷延性意識障害患者を看護し続ける看護師を支えるもの  
佐々木 美和子  
秋田県立脳血管研究センター 看護部 5階病棟

## 一般演題 B7 『脳神経外科看護 5』

16:00～16:50

座長：渡邊 知子 秋田大学大学院 医学系研究科

- B7-1 開頭術後の効果的な洗髪方法の検討  
伊藤 優子、佐藤 美咲、浅沼 雄一、奥山 幸子  
山形市立病院済生館 脳卒中センター
- B7-2 当施設独自の機器としての汎用型脳室ドレナージ回路固定具  
岡田 健、石川 達哉、師井 淳太、竹中 俊介、引地 堅太郎、吉岡 正太郎、佐野 圭昭、  
佐野 由佳、小林 慎弥、鈴木 明文  
秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科
- B7-3 汎用型脳室ドレナージ回路固定具の作成と試用  
藤田 裕美、軽部 奈弥子  
秋田県立脳血管研究センター 看護部
- B7-4 経蝶骨洞的下垂体腫瘍摘出術におけるDVDによる術前オリエンテーションの効果  
佐々木 和佳<sup>1</sup>、木皿 江美<sup>1</sup>、津田 哲也<sup>1</sup>、布田 一枝<sup>1</sup>、川熊 のぶい<sup>1</sup>、川口 泰洋<sup>2</sup>、  
小川 欣<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>一般財団法人広南会 広南病院 看護部、<sup>2</sup>一般財団法人広南会 広南病院 脳神経外科

- B7-5 手指関節拘縮の改善を目指してーセラミックハンドロールの効果の検証 第2報ー  
片江 真梨子<sup>1</sup>、大田 延枝<sup>1</sup>、高 弥生<sup>1</sup>、久内 文<sup>1</sup>、片岡 恵美子<sup>1</sup>、八木 良子<sup>1</sup>、  
本多 和成<sup>2</sup>、梶谷 伸顕<sup>2</sup>、萬代 眞哉<sup>2</sup>、衣笠 和哉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 看護部、  
<sup>2</sup>独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 診療部
- B7-6 擦式手指消毒剤の効果的な活用をめざした継続介入の効果  
猿田 麻貴、佐藤 清子、佐々木 こずえ  
秋田県立脳血管研究センター 看護部

一般演題 B8 『救急医療・合併症』

16：50～17：30

座長：佐藤 聖子 秋田組合総合病院 看護部

- B8-1 外来看護師による脳卒中救急患者トリアージ  
三上 小夜香、工藤 くみ、村上 朋子、佐藤 眞紀子、千葉 順子、黒瀧 麻実、  
小田桐 千代、三國谷 恵美子、目時 典文、保嶋 実  
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
- B8-2 救命救急センターでの身体拘束解除における看護師のアセスメント  
入江 美歌、大越 真紀  
東京都立広尾病院
- B8-3 遷延性意識障害患者における深達褥瘡治療期間  
白坂 有利<sup>1</sup>、石垣 泰則<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>城西クリニック 脳神経外科、<sup>2</sup>城西クリニック 神経内科
- B8-4 遷延性意識障害患者の気管切開による合併症  
ー気管カニューレの抜去困難症の1例ー  
浅野 好孝<sup>1,2</sup>、野村 悠一<sup>1</sup>、米澤 慎吾<sup>1</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター、<sup>2</sup>岐阜大学大学院医学系研究科 脳病態解析学
- B8-5 人工呼吸器装着患者に対するせん妄予防  
～看護の顕在化を図り多職種連携を考える～  
須田 千明、大城 祐樹、関川 志保  
亀田総合病院 ECU

一般演題 B9 『リハビリテーション 1』

17：30～18：10

座長：平澤 昭子 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター 看護部

- B9-1 小脳出血急性期症例において意識障害が退院時ADLに与える影響  
宮越 浩一<sup>1</sup>、波出石 弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>亀田総合病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>亀田総合病院 脳神経外科

- B9-2 重症脳梗塞患者への超急性期リハビリテーション介入の経験**  
 杉山 慎太郎、岡部 歩、西川 麻也、松本 由比乃、日時 みゆき、谷口 佳巳、田附 容子、  
 草野 美樹、小室 太郎  
 市立長浜病院
- B9-3 離床へ向けてのリハビリテーションに際し、解離性大動脈瘤を合併した脳外傷患者の一例**  
 井戸 厚実<sup>1</sup>、榎林 優<sup>2</sup>、岩井 歩<sup>2</sup>、浅野 好孝<sup>2</sup>、篠田 淳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 総合リハビリ部、<sup>2</sup>木沢記念病院 中部療護センター
- B9-4 HALを使用し膝伸展運動が可能となり、移乗動作の自立度向上に至った遷延性意識障害例**  
 阿部 浩明<sup>1</sup>、松森 保彦<sup>1</sup>、長嶺 義秀<sup>1</sup>、藤原 悟<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>広南病院 東北療護センター、<sup>2</sup>広南病院 脳神経外科
- B9-5 眼振を伴う中枢性嘔吐が出現した症例に対する試み。  
 ～遷延性意識障害患者に対して～**  
 吉藤 佑一<sup>1</sup>、由井 賢姿郎<sup>1</sup>、元島 多実子<sup>1</sup>、鈴木 千香子<sup>1</sup>、中井 基之<sup>1</sup>、中村 博彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 リハビリテーション部 理学療法科、  
<sup>2</sup>医療法人 中村記念病院 脳神経外科

## 一般演題 B10 『リハビリテーション 2』

18:10~18:45

座長：塩貝 敏之 恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科

- B10-1 表出方法の工夫により、コミュニケーションが拡大した頭部外傷の一症例**  
 澤村 彰吾<sup>1</sup>、大坪 綾菜<sup>1</sup>、榎林 優<sup>2</sup>、森 美香<sup>2</sup>、浅野 好孝<sup>2</sup>、篠田 淳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 総合リハビリ部、<sup>2</sup>木沢記念病院 中部療護センター
- B10-2 脳血管障害患者に対するナラティブ・アプローチの有用性の検討  
 —A氏の事例を通して—**  
 藤田 あけみ<sup>1</sup>、渡邊 知子<sup>2</sup>、中村 令子<sup>3</sup>、石鍋 圭子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>公立大学法人青森県立保健大学健康科学部 看護学科、<sup>2</sup>秋田大学医学系研究科 保健学専攻、  
<sup>3</sup>東北福祉大学健康科学部 保健看護学科、<sup>4</sup>茨城キリスト教大学大学院
- B10-3 失語・失行のある患者への更衣指導書申送書を活用した援助**  
 今 勇樹  
 秋田県立リハビリテーション 精神医療センター
- B10-4 脳卒中回復期リハビリテーション看護における苦痛緩和の援助**  
 須藤 みつ子、高橋 義孝、横山 純子  
 財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター